

コンピテンス

- 本能的もしくは生得的かつ学習的に、環境を自らの選択によって効果性を有する方向へと操作する能力 White(1959;1963)

- ①環境を効果的に操作する能力
- ②全ての人間が生得的本能・学習の結果として備える
- ③主体と管渠との相互作用、フィードバック（力動的関係）のうちに発達、または退化。効力感 (feeling efficacy)の蓄積の有無

**人が、生物環境（人・集団）および非生物環境（生産的活動など）との
関わりの中で成長し、自らの意思・目的をもって環境に働きかける能力**

(陳,2007)

就労・継続就労に成功している知的障害者たちは、コンピテンスの発達が見られる

コンピテンスの発達・阻害要因

コンピテンスの発達	成功要因としてのコンピテンスの発達	職業能力・就労意欲の発達	客観的・肯定的自己認識の発達	社会化の成長促進	自立生活を営む意欲の促進
支援要因	知的障害者は働けるという信念	就労は成長発達をもたらすという信念	就労を通して自立できるという信念	同伴者としての支援姿勢	情愛的な絆

コンピテンスの阻害	就労意欲の喪失	就労働機形成の阻害	客観的・肯定的自己認識の阻害	社会化の成長の衰退
支援要因	支援者の都合・信念を第一義とする支援	就労に対する消極的な信念	“途方にくれる支援者” 支援者を支援する環境や制度の不在	

(陳,2007)